

平成 2 1 年度 実 施 事 業	事務事業名 し尿処理業務（し尿処理・収集量）
----------------------	-------------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	3	生活排水の適正な処理
小分類	3	し尿の適正処理
主要な施策	1	し尿処理施設の整備
事務事業番号	002	事務事業コード 21331002 事業開始年度 平成 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	し尿収集業務委託料
------	------	------------	-----------

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室 環境対策 G
-----	-------	-------	--------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市内の汲取り世帯
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) し尿収集運搬業務を民間委託し遂行する。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 良好な生活環境を維持するため、効率的かつ適切に収集運搬する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	し尿収集量	キロリット	目標値	6,260	7,368	6,705	6,102	5,552
			実績値	8,097				
	(目標値はH19～H21年度実績の平均減少率から算出)	目標値						
		実績値						

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	46,967	32,907	40,005	40,005	32,970	112,980
合 計				46,967	32,907	40,005	40,005	32,970	112,980
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	6,685	7,005			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	534			
			合 計		6,685	7,539			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
下水道接続世帯増加しても、下水道区域外の浄化槽汚泥やし尿がなくなる限り、必要なため。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
民間委託により効率的かつ適切な収集運搬が実施されている。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？
良好な生活環境を維持するため、現在、効率的かつ適切に収集運搬することが出来ている。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？
現在、常に収集方法等を検討し、効率的な収集を行っているため。			

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	下水道の普及により汲取り世帯の減少が見込まれ、それに伴い委託料の縮減が図られるが、全世帯が水洗化しないかぎり、本事業を継続する必要がある。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）